

# サステナビリティマネジメント

## サステナビリティ委員会 委員長メッセージ

当社グループの主力製品である蓄電池の技術革新を通じて、モビリティ・社会インフラ分野における脱炭素社会に大きく貢献していくことをVision 2035のありたい姿で宣言しております。我々は事業活動を通じて、企業理念である「革新と成長」を実践し、財務と非財務の連携を進めていくことが、当社グループのサステナビリティ経営の根幹です。

サステナビリティ経営を一層強化すべく、2024年10月に「サステナビリティ委員会」をサステナビリティ推進委員会の上位委員会として新設しました。サステナビリティ委員会は、代表取締役を委員長とする経営会議メンバーで構成される委員会であり、ステアリングコミッティーとしての役割を果たし、経営層での議論を活発化させるとともに、取締役会との連携を強化することによりガバナンスを向上させてまいります。

サステナビリティ関連法令やESG課題、顧客ニーズなどが大きく変化する環境において、適切かつスピード感を持ってサステナビリティ課題へ対応することにより、当社の非財務価値ならびに企業価値を向上させ、ステークホルダーのみなさまのご期待に応えてまいります。



(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション  
代表取締役 取締役副社長  
(株)GSユアサ 代表取締役 取締役副社長

澁谷 昌弘

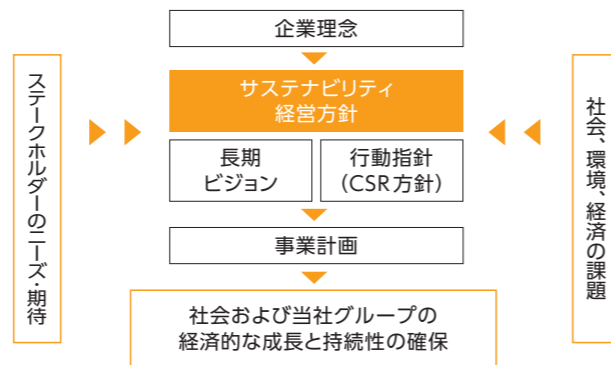
## サステナビリティ推進プロセス

当社グループは、不変的な価値観を示した企業理念を基盤としたサステナビリティ推進プロセスを運用することによって、企業価値とステークホルダー満足度を向上させることを目指しています。また、企業理念を実践するために、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指す方向性を示したサステナビリティ経営方針を策定し、ステークホルダーとの対話を重視し、サステナビリティ課題の解決への貢献や強固な事業基盤を保持する旨をコミットメントしています。

サステナビリティ経営方針  
▶ <https://www.gs-yuasa.com/jp/company/philosophy.php>

サステナビリティ経営の推進  
▶ <https://www.gs-yuasa.com/jp/csr/structure.php>

### サステナビリティ推進プロセスの概要



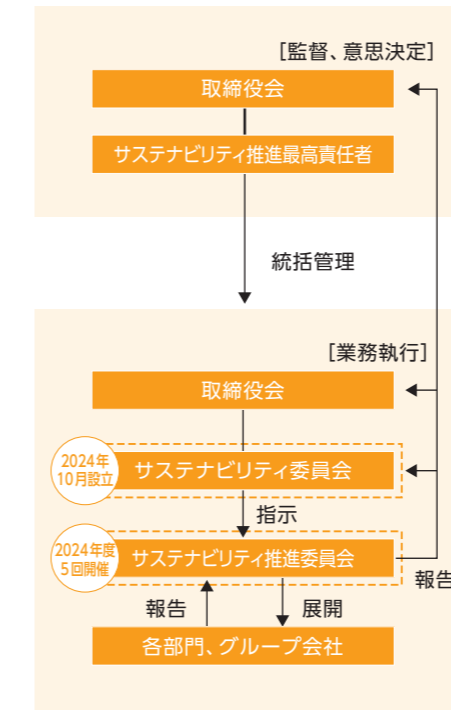
## サステナビリティ推進体制

グループ全体でサステナビリティへの取り組みを中長期的かつ多角的に推進するため、取締役会の監督のもと、サステナビリティ推進委員会を中心とした体制を整備しています。また、2024年10月には、グループの中核事業子会社の経営会議メンバーで構成され、代表取締役を委員長とする「サステナビリティ委員会」を新設しました。これにより、最高経営層のリーダーシップのもと、サステナビリティ経営の推進体制をさらに強化しています。

本体制では、当社取締役社長が「サステナビリティ推進最高責任者」としてグループ全体のサステナビリティ活動を統括するとともに、取締役会を中心としたコーポレート・ガバナンス体制がグループ全体のサステナビリティ経営の適切性を監督・管理しています。また、中核事業子会社には、サステナビリティ課題に関する協議、立案、推進を担う会議体としてサステナビリティ推進委員会を設置し、グループ全体でのサステナビリティ経営の推進に取り組んでいます。

サステナビリティ推進委員会で協議された重要事項については、サステナビリティ委員会が審議を行い、効果的なサステナビリティ経営を実践するための指針をサステナビリティ推進委員会にフィードバックします。サステナビリティ推進委員会は、このフィードバックをもとに対処策や経営資源などを検討し、当社および中核事業子会社の取締役会での決議を経て、グループ全体に展開しています。なお、当社グループのサステナビリティ情報を社外に公表する際には、サステナビリティ推進委員会のレビューを経た後、取締役会が最終的なレビューと承認を行い、開示する情報の透明性と信頼性を確保しています。

## サステナビリティ推進体制



### 各委員会の概要

サステナビリティ委員会	サステナビリティ推進委員会
出席メンバー	出席メンバー
<ul style="list-style-type: none"> <li>委員長：代表取締役役員</li> <li>委員：中核事業子会社の経営層および監査役</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員長：サステナビリティ推進担当役員</li> <li>委員：中核事業子会社の主要な部門および子会社のサステナビリティ推進責任者</li> </ul>
役割	役割
サステナビリティ推進委員会からの報告を受け、経営上重要とされるサステナビリティ関連課題について検討を行い、必要に応じて同委員会に対応方針を指示する	グループ全体におけるサステナビリティ課題への取り組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティ課題に対応する具体的な施策の立案および実施</li> <li>ステークホルダーや社会の要請を考慮したサステナビリティ情報開示の充実化 など</li> </ul>
	2024年度の主な議論テーマ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年度における重要なサステナビリティ課題に対応する具体的な施策の立案</li> <li>サステナビリティ課題に関連する顧客ニーズや外部評価への対応の実施</li> <li>新たなサステナビリティ関連法令の遵守に向けた対応の実施など</li> </ul>

## TOPICS

### サステナビリティの社内浸透に向けた取り組み ～サステナビリティ課題の理解促進を目的とした従業員研修～

#### 1 サステナビリティ職場ミーティングの実施

従業員一人ひとりがサステナビリティに関する重要課題への理解を深めることを目的として、サステナビリティ課題をテーマとしたミーティング形式の研修プログラムを職場単位で実施しています。

#### サステナビリティ職場ミーティングのテーマ（2024年度）

- 企業倫理の実践を通じたSDGsへの貢献
- 環境教育（気候変動）
- 多様性の尊重
- 意図的な不正行為の防止
- 機密情報の取り扱い
- 下請法
- 個人情報の保護
- 安全保障貿易管理
- ハラスメント
- 労働時間管理
- 安全衛生
- モノづくりプロセスと製品安全

#### 2 階層別研修へのサステナビリティ課題の導入

サステナビリティに関する知識と意識を高め、業務に活かすことができるよう、階層別研修にサステナビリティ課題に関する内容を組み込んでいます。

#### サステナビリティ課題に関する講義を取り入れた階層別研修一覧

- 新任部長／課長／係長・リーダー研修
- キャリアアップ研修（入社6年目）
- スキルアップ研修（入社3年目）
- パワーアップ研修（高卒4年目）
- 新入社員研修
- マネジメント研修（課長5年目）